

製造業の魅力伝える

道経済部と旭川で現場見学会
道機械工業会



【旭川】道経済部と北海道機械工業会は19日、道内各地で実施する高校生向け「ものづくり現場見学会」の2020年度1回目を旭川市内で開催した。製造業の魅力を広げるため、夜鉄工所（本社・旭川）とオノアラ

（同）の2社が、特別高電子機械科の1年生20人を自社の工場に案内した。

道が、製造業への就職促進を図るため、道機械工業会が協賛して実施している活動。工業系の学校

工場内を見学し製造業の仕事を手伝った。

る予定だ。

一行はまず、夜鉄工所で、水門の閉鎖扉扉や起伏アートの製造工場を見学。同社の佐藤賢吉副常務管理部長の案内で、部品加工から出荷までの過程を手伝った。

道内製造業への就職を考えている岡山選手さんは「工場内がきれいに整備されていて、働きやすい環境に見えた」と見学の印象を語った。

オノアラでは、建設機械のアタッチメントなど

を製造する工場を見学。生徒たちは、同社の小野寺直道社長に「製品の色に意味はありますか」「鉄板が製品になるまでのくらいかかりますか」など積極的に質問し、理解を深めていた。